

公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	阿波おどり会館		
指定管理者	阿波おどり未来継承まちづくり共同体	担当課	にぎわい交流課
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで	公募・非公募の別	公募
施設の所在地	徳島市新町橋2丁目20番地	事業の概要	阿波おどり会館施設維持管理 設備等の保守・点検業務、受付業務、 阿波おどりミュージアム、駐車場、阿 波おどり公演、自主事業、活動室の貸 出
施設の概要	鉄筋コンクリート造地下1階5階建 阿波おどりミュージアム、阿波おどり ホール(250名収容)、活動室(4室)、駐 車場(26台収容)		

	項目名	令和5年度	令和6年度	項目名	令和5年度	令和6年度
利用状況に関 すること	利用者数等	148,766人	175,254人	自主事業参加人数	747人	939人
	利用回数	回	回	事業開催数	4回	6回
収支状況に関 すること	指定管理料	97,151千円	97,151千円	人件費	57,461千円	50,404千円
	利用料収入	83,986千円	94,337千円	管理費	57,587千円	65,055千円
	その他収入	7,734千円	239千円	その他	73,894千円	70,578千円
	収入実績(総額)	188,871千円	191,727千円	支出実績(総額)	188,942千円	186,037千円

評価基準・評価項目		指定管理者自己評価コメント	担当課評価
施設管理 体制	(1) 法令等遵守	全職員が、法令・徳島市条例・指定管理者要求水準書、安全管理体制・緊急時体制等の確認、研修を実施し、安心・安全な施設管理運営を行いました。 職員については、適切な人員配置を心掛け、又、毎月の職員会議で館内の設備状況や事業実施内容等について、情報共有や安全管理体制等の再確認を行いました。 利用促進の取組みについては、ホームページ、SNS等で積極的な情報発信に努めました。	A
	(2) 職員配置		
	(3) 職員研修		
	(4) 利用促進の取組み		
	(5) 設備・備品管理		
	(6) 安全管理体制		
	(7) 緊急時の体制		
業務 利用者に関する	(1) 利用状況	引き続き阿波おどり公演を昼4公演、夜1公演開催できており、昼公演は演出内容を一新するなどして、公演の充実を図りました。 接客は親切・丁寧を心がけ、公演観覧者には、可能な限りご意見をお伺いするとともに、館内にアンケート用紙を設置するなどして、ニーズの把握、サービス向上に反映させるように努めました。 個人情報も規程に基づき、適切に管理しました。	A
	(2) 平等な利用		
	(3) 利用料金		
	(4) 接客対応		
	(5) 個人情報保護		
	(6) サービス向上の取組		
施設 業務 維持	(1) 保守点検業務	保守計画に基づき機械設備等の点検を行いました。 修繕に関しては、徳島市と協議しながら、規模に関わらず急を要するものから対応しました。 また、清掃については、委託業者のみならず、会館職員も館内に気を配り、汚れた箇所があれば清掃を実施しました。	A
	(2) 清掃等維持管理業務		
	(3) 修繕等維持管理		
実施 事業	(1) 企画運営事業	7月の会館まつりの特別公演にあわせ、ミュージアムを無料開放としました。 また、お月見、クリスマスなどの季節の催しや、他団体主催イベント等にあわせ、阿波おどりとのコラボレーションイベントを実施しました。 その他グッズ販売や文化講座(三味線教室)も実施しました。	A
	(2) 自主事業		
経理 状況	(1) 施設収支状況	利用者の増加に伴い、収入も増加しました。光熱水費、その他の物価高騰もありましたが、全職員が経費節減に取り組み、収支改善に努めました。	A
	(2) 指定管理者経営状況		
	(3) 経費の縮減		
評価基準		S:優れている（協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。） A:適正に管理されている（協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。） B:一部に改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。） C:多くに改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。）	

担当課総合評価コメント		総合評価
管理運営については、要求水準書、協定書に基づき、適正に管理運営を行うことができていました。 施設の利用促進のため、季節に合わせた魅力的な企画を実施するとともに、積極的な情報発信の効果も相まって、年間の施設利用者数は前年度を大きく上回ることができました。 収支状況については、物価高騰により苦しい状況となったと推察されますが、上記取り組み等の事業展開による料金収入の増や、精査による経費節減に努めたことによって、収支改善の成果をあげられました。 今後は、指定管理者の施設運営ノウハウをさらに発揮し、本施設ならではの魅力を創出するとともに、施設への集客やPRを効果的に行い、外国人観光客を含めたさらなる誘客に取り組まれることを期待しています。		A
S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)		